

2024年5月

学校法人 関西大学

2023年度の資金運用結果について

2023年度の世界経済は、米欧など主要国の中央銀行においてインフレを阻止するための金融引き締め政策が維持されるなか、過度な景気後退に陥ることなく緩やかな景気減速を伴いながら物価の上昇テンポがピーク・アウトするソフトランディングを辿りました。こうした経済情勢を背景に、株式市場は日本を含め主要国で最高値を更新するなど好調に推移し、債券市場での海外金利の高止まりを映じて、為替市場では一段の円安が進みました。

このような投資環境下、「2023年度資金運用方針」に基づく資金運用に臨み、2023年度の運用収益は16.5億円（有価証券利回り2.4%、金融資産利回り1.3%）になりました。

以下に2023年度における有価証券の運用結果についてご報告いたします。

1 国内債券

国内債券については、償還債券を原資に、金利動向を考慮しながら利回り確保の観点から長期ゾーンの債券を購入する計画とし、1%以上の利回りが確保できる銘柄を中心に購入しました。

国内債券による運用収益は2.7億円となりました。

2 外国債券

外国債券については、償還債券を原資に、金利動向、為替動向を考慮しながら利回り確保の観点から長期ゾーンの債券を購入する計画とし、5%以上の利回りが確保できる銘柄を中心に購入しました。

外国債券による運用収益は4.7億円となりました。

3 リスク性資産

リスク性資産については、新たにインカム型資産運用、キャピタル型資産運用の委託運用を開始し、またパッシブ運用の委託運用を追加しました。

リスク性資産による運用収益は8.6億円となりました。

4 短期運用

短期運用については、短期（期間3ヶ月）の合同運用指定金銭信託を活用した運用を行いました。

短期運用による運用収益は0.2億円となりました。

5 その他

仕組債等による運用収益は0.3億円となりました。

以上